

令和7年度

『県中医療圏退院調整ルール』 に関するアンケート調査結果

病 院 編



アンケート実施期間：R7.8.1～8.22

【アンケート回答状況】

アンケート対象病院・有床診療所数：32病院等
回答病院等数：31病院

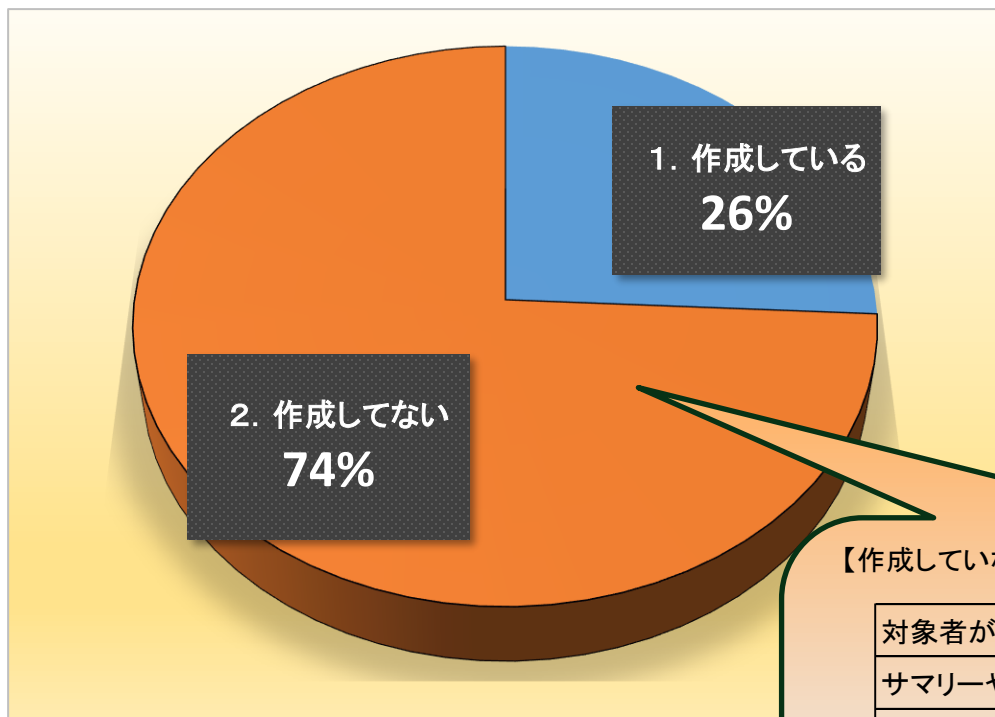
【アンケート項目】

- I 「摂食嚥下連絡票」について
- II 運用評価会議における協議事項等について

上記の項目について、
病院の方に回答いただきました。

I 「摂食嚥下連絡票」について

Q：摂食嚥下障害がある患者の場合、「摂食嚥下連絡票」を作成してますか。



【作成していない理由】

対象者がいなかった	6
サマリーや独自評価表にて情報共有している	6
連絡票があることを知らなかった	5
実際の様子を動画で共有している	1
連絡は必要だが、連絡票の実用性を感じない	1
その他(院内体制が整ってない、人員不足)	2
理由記載なし	2

II 運用評価会議における協議事項について

運用評価会議（病院等・ケアマネジャー合同会議）で協議したい事項、 情報共有したい内容

- 退院後に出てくる課題など、地域の実際の現状や課題。
- 現在の連携体制において、ケアマネジャー・医療ソーシャルワーカーが不十分だと感じていること。
- 身寄りがない方や介護保険以外の社会保障制度につなぐ必要がある方について、ケアマネジャー・医療ソーシャルワーカーそれぞれに求められている役割。
- 入院中の情報共有や退院前カンファレンスのあり方について、ケアマネジャーが病院に望むこと。
- 外来患者の連携について病院に望むこと。
- ケアマネジャーが主催する担当者会議とは別に、病院の医師やスタッフと院外の支援者も交えた退院前カンファレンスの開催頻度や開催方法。
- 急性期病院から慢性期病院へ転院した後のケアマネジャーの関わり方の現状。
- 退院支援において、在宅支援者（ケアマネジャー）が医療的ケアが必要な方の情報共有をどの程度、病院の意見を求めているか。

など